

レファレンス だより

2013年10月号
No. 131

福岡市総合図書館
図書サービス課 相談係
☎092-852-0632



図書館では、情報を求める利用者に対して、図書館の資料と機能を活用して調査のお手伝いをする「レファレンス・サービス」を提供しています。「レファレンスだより」は、実際に寄せられた質問について、総合図書館が回答した事例の一部を紹介する情報紙です。（法律相談や物品鑑定などお答えできない質問もあります。）

■レファレンス受付件数（2013年7月分）

参考	人文	社会	自然	郷土
138	1,675	371	312	394
国際	国連	こども	ホピュラー	合計
522	90	2,370	1,317	7,189

（開館日 24日 一日平均 300件）

※「2階C1」などと表記しているものは総合図書館の棚番号です。また、「813.1」などと表記しているものは分類番号で、数字の左にRが付いている資料、郷土資料は貸出ができませんので、館内でご利用ください。本によっては、分館も含めて複数冊所蔵しているものがあります。



今月のレファレンス徹底解説！

Q：マダニの写真や、咬まれないための予防法、咬まれた際の対処法について知りたい。

■図鑑を調べてみる

『日本ダニ類図鑑』（江原 昭三／編 全国農村教育協会 1980年）2階E2 R485.7/-

「フタトゲチマダニ」などマダニ科の雄・雌の写真が掲載や、形態や特徴、分布についての説明あり。

■ダニに関する本を調べてみる

『ダニ病学 暮らしのなかのダニ問題』（高岡 正敏／著 東海大学出版会 2013年）2階E10 498.69/4

「マダニ媒介性の感染症」の項目に、2012年11月に日本で初めて（2005年から確認事例あり）山口県の成人女性が「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」に罹り死亡した事例の記載あり。現在のところ、このウイルスに効果的な治療薬やワクチンがないため、ダニに刺されないように身体を十分に防備し、帰宅後は衣類の処置を行い、できれば入浴なども効果的とある。「フタトゲチマダニ」の写真あり。

■雑誌記事を調べてみる

『Aera(アエラ) 2013年3月11日号』（朝日新聞出版）閉架書庫

マダニの生息地 →日本全国の主に森林や草地に生息し、市街地にもいる。

咬まれた際の対処法 →マダニは数日から10日かけて長時間吸血するので、それを無理に引き抜こうとするとマダニの体の一部が皮膚内に残ってしまうことがある。できるだけ病院で処置してもらうのがよい。また、酸や熱に弱く、消毒アルコールや台所洗剤で咬まれた箇所を洗い流すのが効果的とあり。写真もある。

■インターネット情報を確認する

厚生労働省HP>政策について>分野別の政策一覧>健康・医療>健康>感染症・予防接種情報>

その他の感染症>重症熱性血小板減少症候群（SFTS）について> //（SFTS）に関するQ&A

【http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts_qa.html】

咬まれないための予防法 →草むらややぶなどマダニが多く生息する場所に入る場合は長袖、長ズボン、首にタオルを巻く、足を完全に覆う靴を着用するなど、肌の露出を少なくすることが大切。服は、明るい色（マダニを目視しやすい）や化学繊維素材のもの（マダニがつきにくい）がお薦めとある。Q&A方式で、詳しい予防法や対処法、SFTSに関する説明あり。

マダニは家庭内に生息する
体長1ミリ以下のダニとは
全く種類が異なります。
吸血前で3~8ミリ、吸血後
10~20ミリになります。



その他にもこんな質問がありました

Q：百文（銭 100 枚）の「銭さし」は習慣的に九十六文（96 枚）であったそうだが、なぜか？

■事典関連

『日本史広辞典』（日本史広辞典編集委員会／編 山川出版社 1997 年）2 階 C10 R210.03/二

「さし【緇】」の項目より、「銭緇（ぜにさし）とも。銭の穴に通して百文・一貫文などの単位でとめるための、わらや麻の細い縄のこと。緇でとめられた銭百文の束を数える単位としても用いられた」とある。九十六文だった理由については記載なし。

『事典しらべる江戸時代』（林 英夫、青木 美智男／編集代表 柏書房 2001 年）2 階 C10 R210.5/ジ
銭貨について記載あり。「由来は定かではないが、九六銭（くろくせん）といって、百文の支払いを九十六文で済ませる取引慣行が一般的であった」とある。

『ビジュアル・ワイド江戸時代館』（小学館 2002 年）2 階 B1 210.5/ビ

九六銭の不足分4文は「手数料」であったといわれる、という記述あり。また、「96」は2、3、4のいずれでも割り切れ、便利なことから普及した、とある。

■貨幣・通貨関係

『貨幣の地域史：中世から近世へ』（鈴木 公雄／編 岩波書店 2007 年）2 階 D14 337.21/カ

この本の「第四章：一五世紀末から一七世紀初頭における貨幣の地域制—伊勢神宮周辺地域を事例に一」では、九十六文銭やその他七十二文銭など様々な例が挙げられ分析されている。

■歴史関係

『西南地域の史的展開 近世篇』（西南地域史研究会／編 思文閣出版 1988 年）

2 階郷土 K2 K238/380/㌦

この中に「九六銭と兎銭」という論考が収められている。従来の説（百文の支払いを百文以下で済ませる慣習は中国に起源があるという説や、また日本では計算上便利という理由で九六銭が生まれたようだ、など）を紹介し、更に考察が加えられている。

Q：「不気味の谷」について知りたい。

■百科事典

『知恵蔵 2007 朝日現代用語』（朝日新聞社 2007 年）

2 階 C1 R031/チ

ヒューマノイドの姿やしぐさを人間に似せていく場合、ある程度までは親近感が増すが、人間にかなり近づいたところで急に不気味さや嫌悪感が出てくる現象のこと。森政弘東工大名誉教授らが名付けたとある。

■ロボット関連

『ロボット情報学ハンドブック』

（松原 仁・野田 五十樹／編 ナノオプトニクス・エネルギー 2010 年）2 階 E3 R548.3/ロ

不気味の谷について解説がある。また、このような現象が起こる原因についての筆者の考察や不気味の谷を越えるロボットについても記述あり。

『顔という知能 顔ロボットによる「人工感情」の創発』

（原文雄・小林 宏／著 共立出版 2004 年）2 階 E15 548.3/ハ

最近のロボットで顔を極端に抽象化されている例として、ホンダのアシモ、ソニーのクレオ、三菱重工のワカマルの例を挙げている。顔表情を完全になくし、不気味さを感じることを防止しているとのある。

『ロボコンマガジン』2003 年 6 月号（オーム社）閉架書庫

「不気味の谷 - 人型ロボットデザインへの注意 - 」という森政弘氏が書いた文章が掲載されている。不気味の谷の概念について、右上の（図 1）をはじめとするグラフを用いて解説している。

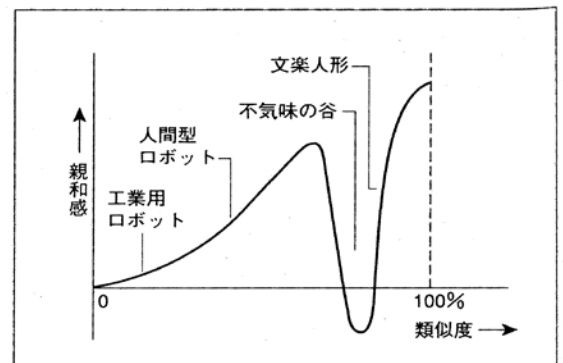


図1 不気味の谷

『ロボコンマガジン』2003 年 6 月号

「不気味の谷 - 人型ロボットデザインへの注意 - 」より

Q：日本や諸外国の防衛体制を対比して見られる資料はあるか。

■年鑑・白書

『日本の防衛 平成 25 年版：防衛白書』（防衛省 2013 年）2 階 C16 R392.1/-

主に日本の防衛政策や日米安保体制についてまとめた資料。日本を取り巻く環境として、諸外国の防衛政策について米国・朝鮮半島等の地域ごとに述べた章がある。

『世界軍事情勢 2013 年版』（史料調査会／編 原書房 2013 年）2 階 C16 R392/t

世界の紛争地域の情勢や、日本をめぐる防衛上の問題について概観する。巻末付録に、日本を含む世界主要国の保有軍事力を比較した表が掲載されている。

■一般資料

『軍事データで読む日本と世界の安全保障』

（ディフェンスリサーチセンター／編 上田 愛彦／ほか編著 草思社 2002 年）2 階 D19 392/g

各国の軍事力や国防費について、国際貢献や研究開発等を含めた多様な観点から詳細なデータを示して分析している。項目によっては時代を追っての変化もわかる。ただし 2002 年以前のデータに基づいているため、最新の情勢は前掲の年鑑・白書による必要がある。

Q：福岡の歴史、文化等を英語で紹介している図書を見たい。

■歴史

『Kyushu : gateway to Japan』（Andrew Cobbing／著 Global Oriental 2009 年）2 階国際 A20 F804ENG/219/CO
太古から現代まで、九州の歴史を時代別・地域別に簡潔に紹介している本。博多や太宰府については 1 つの章立てで説明している。

『Gateway to Japan : Hakata in war and peace, 500-1300』

（Bruce L. Batten／著 University of Hawai'i Press 2006 年）2 階国際 A20 F702ENG/219.1/BA
古代より海外との交流の拠点であった北部九州、特に福岡市地域の 6～14 世紀の歴史を解説した本。

『The Mongol Invasions of Japan 1274 and 1281』（Stephen Turnbull／著 Osprey 2010 年）

2 階 A20 F804ENG/210.43/TU

元寇（文永の役、弘安の役）について、写真や図版などで分かりやすく解説した本。元船の侵攻経路や鎌倉幕府の応戦体制、使用武器、また現在も残る防塁跡などの史跡も紹介している。

■社会・文化

『Hakata : the cultural worlds of northern Kyushu』（Andrew Cobbing／編 Brill 2013 年）

2 階国際 A20 F809ENG/219.1/HA

古くより海外との交流拠点であった北部九州の中心地博多。その独特な文化と歴史について考察した研究書。

『Faces of Fukuoka』（Chris Flynn／著 西日本新聞社 1999 年）2 階 A20 F100ENG/291.91/FL

黒田節、明太子、山笠など、福岡の社会・文化事情を紹介している本。マリリン・モンローが来福した時の様子やセーラー服の発祥地が福岡であることなども紹介している。

『Spirit tree origins of cosmology in Shintô ritual at Hakozaki』

（E. Leslie Williams／著 University Press of America 2007 年）2 階国際 A20 F702ENG/171/WI

筥崎宮で行われている神道儀礼とその様式について、その起源や思想体系など考察した研究書。

『英語で楽しむ福岡の郷土料理 Recipes of Fukuoka』

（津田 晶子，松隈 紀生／著 海鳥社 2009 年）2 階国際 A20 F100ENG/383.8/TS

おきゅうと、柳川鍋、もつ鍋、水炊きなど、四季折々の福岡の郷土料理を紹介した本。調理の手順、料理や素材についての由来や逸話なども日英対訳で紹介している。

■芸術

江戸後期の臨濟宗の高僧で博多の聖福寺の寺持、また近代禅画を代表する一人であった仙厓禅師の作品を紹介している本。

『Sengai 1st Shambhala ed: the Zen of ink and paper』（Daisetz T. Suzuki／著 Shambhala 1999 年）2 階国際 A20 F702ENG/721.7/SU

『仙厓 : Sengai』（古田 紹欽／著 講談社インターナショナル 2000 年）2 階国際 A20 F100ENG/721.7/FU

※ 棚番号は総合図書館のもので、本によっては、分館も含めて複数冊所蔵しているものがあります。



今月の一冊！

『温泉の百科事典』（阿岸 祐幸／編集委員代表 丸善出版 2012年） 2階 E2 R453.9/オ

単なる日本の温泉地や泉質を紹介した本とは異なり、現時点での温泉にまつわる科学、医療、社会、文化などの領域にまでおよぶ知識や用語を取り上げ解説している事典。国内だけでなく海外の温泉地の紹介や索引のほか、付録として「日本映画に登場した温泉」、「文人ゆかりの温泉宿」などの一覧が掲載されています。歴史・文化をとりあげた項目やコラムは読み物として楽しめる内容です。温泉地に建つ文学碑一覧や日本近代文学に描かれた温泉など、やはり文学に関する部分には目を引かれます。ちなみに九州では大分県別府が舞台となっている作品として、三島由紀夫『裸体と衣裳』、川端康成『浜千鳥』、織田作之助『雪の夜』、『湯の町』など。夏目漱石『草枕』には熊本県おあま小天温泉が、遠藤周作『沈黙』には雲仙温泉が描かれているとあります。

使ってみました！⇒“二酸化炭素泉（炭酸泉）”について調べる！

二酸化炭素は皮膚から体内に容易に入り込める数少ない物質で、入浴により皮膚から吸収されると、皮膚の血管が拡張し血液循環が良くなる。拡張した血管は温水の熱を体内に取り入れやすく、血圧も低下するので心臓などに負担の少ない入浴が行える。分布は大分（直入町）の長湯温泉、福岡県の船小屋温泉などがあるが、自然湧出している二酸化炭素泉は日本では少なく、源泉数の0.2%といわれている。



図書館活用術 ～「平凡社東洋文庫」コーナーについて～

2階相談カウンター1の横に設置されている、データベース用パソコンのほど近くに「東洋文庫」コーナーがあるのをご存じでしょうか。平凡社が1963年から創刊している東洋古典の叢書シリーズで、刊行点数は現在800冊を超えます。『東洋文庫ガイドブック』の解説目録によると「日本、中国、インド、イスラム圏におよぶ広大な東半球を、古代から現代まで、著名な古典に限ることなく、埋もれようとしている価値ある書物をも意欲的に再発掘して、読書界に提供する」とあります。確かに外国人の見たアジアといった展示をしようとする、このシリーズだけでそろえられるほどです。タイトルを眺めているだけで、時空を超え、砂漠の遺跡にたずんでいるような気分させられるこのコーナー。興味を持たれた方はぜひご覧ください。



図書館マンス2013 ～「生きる力」～ 開催（10月2日～30日）

福岡市自殺予防キャンペーンの関連事業として「生きる力」をテーマに総合図書館および各分館で関連図書の紹介・展示を行います。今回は展示内容にあわせ「あなたの悩みに寄りそう本」、「図書館司書のおすすめ「生きる力」がわいてくる本」など、合計7種類のブックリストも作成しました。本の紹介だけでなく各種相談窓口も掲載しています。リストは総合図書館及び各区分館、区役所、市民センター、保健所等で配布しています。

「切らさないでね。こころの電池。」